

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	消防団運営事業（政策）						事業類型	その他
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令 消防団の装備の基準 消防組織法 第23条第2項・第37条
			09	01	02	03		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第5節 防犯・防火機能の充実						市民協働	行政主体
	[1] 消防・救急						担当課係等	消防総務課
1 消防力の強化						消防団係		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 広域的な大規模災害にも対応できるよう団員が連携を図り、組織的な活動を行う。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 地域の安心、安全の確保、有事の際の効果的な活動により防災力の向上が期待できる。	【対象者】 市民	
【全体概要】 消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関であり、「自らの地域は自らが守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の安心・安全の確保に大きく貢献している。市民の安心・安全に寄せる関心は高いものとなっていることから、消防団組織の充実強化を図ることで、地域防災力が向上する。	【特記事項】 安全確保の装備改正による貸与品配備を実施	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ操法大会 ・放水訓練 ・救急訓練 ・各部訓練 ・夜間警戒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ操法大会 ・放水訓練 ・救急訓練 ・各部訓練 ・夜間警戒 ・安全確保の装備改正による貸与品配備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ操法大会 ・放水訓練 ・救急訓練 ・各部訓練 ・夜間警戒

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	1,589	10,653	1,589					
	歳入計（千円）	1,589	10,653	1,589					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	39	39	39					
	18 備品購入費	0	9,064	0					
	19 負担金、補助及び交付金	1,550	1,550	1,550					
歳出計（千円）（A）	1,589	10,653	1,589						
（参考）	当初予算額	1,589	当初予算額	11,007	伸び率(%)	決	-85.0	予	-85.5
職員人工数	0.40	0.60	0.65						
職員人件費（B）	3,132	4,614	5,227						
総事業費（A）＋（B）	4,721	15,267	6,816						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	訓練指導の実施回数	回	目標	21.00	21.00	21.00
	各部訓練指導の実施回数		実績	21.00	21.00	0.00
	消防団の装備の基準改正による貸与品配備	着	目標	0.00	109.00	0.00
	消防団安全確保の装備改正による貸与品数		実績	0.00	109.00	0.00
成果 指標	各ポンプ操法大会出場分団数	分団	目標	14.00	13.00	14.00
	県南北部及び市ポンプ操法大会等の出場分団数		実績	14.00	13.00	0.00
	消防団の装備の基準改正による装備改善	%	目標	0.00	100.00	0.00
	消防団安全確保の装備改正に伴う装備改善数		実績	0.00	100.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域の安心・安全確保
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市の関与の程度は現状で妥当である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 災害は多種多様であり、向上させる余地はない
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地域の防災力の確保には必要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 整備をしてきたところである。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公平である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	成果維持
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 田山明夫
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 消防団員の処遇の改善を推進し、団員の確保に努める		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 井坂沢守
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 処遇の改善、訓練の充実、団員の活動能力の向上を図る。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	消防水利整備事業（政策）						事業類型	施設等整備
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令 消防法第20条 地震防災対策特別措置法第1条の2
			09	01	03	04		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第5節 防犯・防火機能の充実						市民協働	行政主体
	[1] 消防・救急						担当課係等	消防総務課
1 消防力の強化						管理係		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 火災時に使用する消防水利を確保し、消火活動の強化を図る。 茨城県地震防災緊急事業五箇年計画に沿った消防用施設設置。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 消防水利の充足率の向上により、消防活動の強化が期待できる。	【対象者】 市民
【全体概要】 消防法第20条により、「消防に必要な水利施設は、当該市町村がこれを設置し、維持し及び管理する」とされている。主な内容は、災害対策のため、火災時に使用する消防水利を確保し、消火活動の強化を図ることができる。	【特記事項】 年次計画に基づき、消防水利の整備を行う
【平成26年度 事業内容】 ・耐震性防火水槽新設工事1基 ・消火栓新設工事5基	【平成27年度 事業内容】 ・耐震性防火水槽新設工事1基 ・消火栓新設工事4基 ・防火水槽解体工事2基
【平成28年度 事業内容】 ・消火栓新設工事4基	

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	12,095	11,506	3,880					
	歳入計（千円）	12,095	11,506	3,880					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	13 委託料	281	347	0					
	15 工事請負費	11,814	11,159	3,880					
歳出計（千円）（A）	12,095	11,506	3,880						
（参考）	当初予算額	12,432	当初予算額	13,582	伸び率(%)	決	-66.2	予	-71.4
職員人工数	0.30	0.80	0.80						
職員人件費（B）	2,349	6,152	6,433						
総事業費（A）＋（B）	14,444	17,658	10,313						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	消防水利設置件数	基	目標	5.00	5.00	4.00
	適正箇所への水利設置		実績	6.00	5.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	有効稼働率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	消防水利の使用可能率		実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 防災上必要である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 防災上妥当である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 【理由】 一定の効果が上がっているが、向上の余地はない	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 【理由】 防災上問題（支障）をきたす	<input type="checkbox"/> 影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない 【理由】 類似性がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 公平である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	設置要望のPR、公共用地への設置や上水道配管の整備を推進する
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 年次計画に基づき、消防水利の整備を行っていく	記入者： 田山明夫
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 計画的に整備を実施していく。	記入者： 井坂沢守

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	消防団施設整備事業（政策）						事業類型	施設等整備
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	消防組織法 第6条
			09	01	03	06	政策経費	
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第5節 防犯・防火機能の充実						市民協働	行政の関与
	[1] 消防・救急						担当課係等	消防総務課
1 消防力の強化						消防団係		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 消防団組織の再編に伴う、初動体制の充実と施設管理費の軽減を図る。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 災害対応に万全を期すとともに地域消防力の充実強化を図る。	【対象者】 消防団	
【全体概要】 消防団再編に伴い、各地域における消防施設の充実を図るとともに適正な消防団配置を実施し、災害時の初動体制の強化を図る。	【特記事項】 消防団デジタル無線整備を実施する	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
・消防団統合に伴う詰所の整備	・詰所解体工事 ・消防団デジタル無線整備	・消防団詰所トイレ設置工事（浄化水槽型）1箇所 ・消防団詰所トイレ設置工事（下水道接続型）1箇所

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	18,180	63,207	4,503					
	歳入計（千円）	18,180	63,207	4,503					
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	12 役務費	118	0	0					
	13 委託料	2,021	0	843					
	15 工事請負費	16,041	1,755	3,660					
	18 備品購入費	0	61,452	0					
歳出計（千円）（A）	18,180	63,207	4,503						
（参考）	当初予算額	20,770	当初予算額	81,019	伸び率(%)	決	-92.8	予	-94.4
職員人工数	0.75	0.75	0.80						
職員人件費（B）	5,872	5,767	6,433						
総事業費（A）＋（B）	24,052	68,974	10,936						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動	消防団旧詰所及び火の見櫓解体	棟	目標	0.00	1.00	0.00
	平成26年度事業消防団統廃合での新設詰所に伴う旧詰所及び火の見櫓解体		実績	0.00	1.00	0.00
指標	消防団デジタル無線 車載及び携帯無線	基	目標	0.00	89.00	0.00
	消防団の装備の基準改正に伴う装備		実績	0.00	89.00	0.00
成果	旧詰所及び火の見櫓解体完了値	%	目標	0.00	100.00	0.00
	新設詰所に伴う旧詰所及び火の見櫓解体完了までの進捗状況		実績	0.00	100.00	0.00
指標	消防団デジタル無線 車載及び携帯無線完了数	%	目標	0.00	100.00	0.00
	消防団の装備の基準改正に伴う装備完了		実績	0.00	100.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 消防団の再編成に伴う事業であり、必要である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 「消防団の装備の基準」の改正に伴い行う事業
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 デジタル無線の整備、余地がない
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 防災拠点である消防団施設の整備を推進することで、市民の安全に寄与できる。
効率性 評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公平である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	成果維持
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 田山明夫
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 霞ヶ浦地区の消防団詰所はトイレがないため、衛生面からトイレの整備を進めていく		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 井坂沢守
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 既存の詰所にトイレ等の整備を実施していく。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度							
事務事業名	常備消防事業（政策）						事業類型	施設等整備
予算科目	会計	01	款 09	項 01	目 01	事業 04	要求区分 政策経費	根拠法令 消防法第1条 消防組織法第1条
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第5節 防犯・防火機能の充実						市民協働	行政主体
	[1] 消防・救急						担当課係等	消防総務課
1 消防力の強化						管理係		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、火災又は地震等の災害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命救助等を行える	市民	
【全体概要】	【特記事項】	
消防組織法第1条において「消防は、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減することを任務とする。」とされている。主な内容は、消防防災の対応力の向上に資する施設等の整備及び知識、技術等を高めるため必要であり、災害に強い地域づくりを推進する。	消防本部・西消防署耐震補強工事の実施	
【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
・ 幼少年婦人防火委員会補助金	・ 災害拠点施設耐震化 ・ 幼少年婦人防火委員会補助金	・ 指令システム装置撤去工事 ・ 救助ゴムボート用船外機 ・ 幼少年婦人防火委員会補助金

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	410	24,320	2,881
	歳入計（千円）	410	24,320	2,881
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	4,835	0
	15 工事請負費	0	19,075	2,000
	18 備品購入費	0	0	471
	19 負担金、補助及び交付金	410	410	410
歳出計（千円）（A）	410	24,320	2,881	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸び率(%)	
職員人工数	0.40	0.35	-86.1	
職員人件費（B）	3,132	2,692	-86.1	
総事業費（A）＋（B）	3,542	27,012	7,706	

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動	消防庁舎耐震化	棟	目標	0.00	0.00	0.00
	東消防署耐震補強工事		実績	0.00	0.00	0.00
指標	消防本部・西消防署耐震化	棟	目標	0.00	1.00	0.00
	消防本部・西消防署耐震補強工事		実績	0.00	1.00	0.00
成果	消防庁舎耐震化	棟	目標	0.00	0.00	0.00
	構造耐震性能の確保		実績	0.00	0.00	0.00
指標	消防本部・西消防署耐震化	棟	目標	0.00	1.00	0.00
	構造耐震性能の確保		実績	0.00	1.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 消防行政上必要である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 防災拠点施設である消防庁舎の機能維持及び耐震整備を図り、市民が安心・安全に生活できるための事業である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 妥当である
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 防災・震災等に備えた、防災拠点施設の整備であり、市民の安全を維持する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他事業との類似性がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公平である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	成果維持
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 田山明夫
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 消防施設等を整備することにより、消防力の充実強化をはかる		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 井坂沢守
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 消防施設の整備を推進する。		